

授業科目

アスレチックトレーナー論

【担当教員名】 柵木聖也	対象学年	3	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	自由
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
 アスレチックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】  
 アスレチックトレーナーを目指す学生にとって、学ぶべき事項は非常に多い。本講義はそれらの事項のうち、まず最初に学び理解する必要のある基本的事項について解説する。具体的には、①日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレチックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけ ②諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容 ③我が国におけるアスレチックトレーナーの担うべき任務とその役割 ④他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性 ⑤スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理、が学習内容となる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	アスレチックトレーナーとは① 日体協における養成事業の概要		
2	アスレチックトレーナーとは② 我が国のアスレチックトレーナーの歴史的背景		
3	アスレチックトレーナーとは③ トレーナーの起源と諸外国の実情との比較		
4	アスレチックトレーナーの業務① アスレチックトレーナーの任務、役割		
5	アスレチックトレーナーの業務② アスレチックトレーナーの具体的業務内容		
6	チームスタッフとの連携・協力① サポートチームにおけるメディカルスタッフ		
7	チームスタッフとの連携・協力② コーチ、ドクターの役割とその連携・協力		
8	チームスタッフとの連携・協力③ その他のチームスタッフとの連携・協力		
9	組織運営と管理① スポーツ組織全体に対する理解		
10	組織運営と管理② アスレチックトレーナーの組織・体制づくりとその運営		
11	組織運営と管理③ 記録およびデータ採取の必要性とその方法		
12	アスレチックトレーナーと倫理① 社会全体を支える秩序		
13	アスレチックトレーナーと倫理② アスレチックトレーナーの社会的立場と貢献		
14	アスレチックトレーナーと倫理③ アスレチックトレーナーに求められる倫理観		
15	評価		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	アスレチックトレーナーテキストⅠ・Ⅱ		(財) 日本体育協会	
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 レポート、実技、態度、小テストなどから総合的に判定する	【履修上の留意点】
---------------------------------------	-----------

健康スポーツ学科 専門